

ココロとカラダを整え潤す 理想の別荘ライフ

信州を楽しむために 住まいづくりで夢を実現

深緑と静寂に包まれた建物。森林浴しながらの豊かな自然と澄んだ空気が、極上のひとときをもたらします。ここは、高原リゾートを満喫するために建てられた、T夫妻のセカンドハウス。都会の喧騒を離れ、家族や友人と余暇をゆったり楽しむための憩いの場です。「プライベートサウナや薪ストーブ、造作家具など、細部にまでこだわりました」と奥様は話します。

ビルダー選びでは、大手から地元工務店まで数社を比較検討。その中で最も理想に近かったのが、トモノ建築設計事務所でした。地域で数多くの実績をもつ同社の強みは、高性能でデザイン性にも優れたオーダーメイドの住まい。見た目の美しさだけでなく、素材選びから施工品質にまで妥協がなく、信州で快適に暮らすための工夫が随所に息づいています。

完成見学会で訪れた住まいは、

いずれも上質で品の良い家ばかり。施主の満足度の高さが伺え、「期待とおりでした」と奥様。何より細部に至る「納まり」の精密さに、感銘を受けたと話します。東京で暮らす夫妻にとって、「この会社なら安心してお任せできる」と確信した瞬間でした。

もちろん、家づくりの途中では迷いや悩みも少なくなく、ときには立ち止まったこともあったそう。しかし、どんな些細な相談にも真摯に耳を傾け、対応してくれるスタッフの寛容さに、「頭が下がる思いでした」。振り返れば、「家づくりは楽しい思い出ばかりでした」と奥様。最初の出会いから完成まで、一歩一歩丁寧に進められたその工程すべてが、今となっては愛おしいと微笑みます。

A. 天然木に囲まれたT邸は、夏の避暑地を思わせる佇まい。鮮やかなグリーンによく映える。屋根の傾斜もシャープでスタイリッシュな印象を醸し出している。外壁のスギ板は「縦張りの押し縁押さえ工法」。木板を1枚ずつ外せるので維持管理もしやすい。



B_段差によってメリハリをつけたダイニング。ダイニングはご飯を食べたりおしゃべりしたりする「動」をイメージした開放的なエリア。右手奥に見えるのが、少し下がった囲まれ感のあるリビング。こちらは視線を気にせずにもったりできる「静」の空間。 C_カール&ハンセンの丸テーブルやF-FURNITURE(藤岡木工所)のオーダーメイドキッチンなど、随所に奥様のこだわりがうかがえる。素材やデザインなどテイストを揃えることで統一感が生まれた。 D_造作ソファの仕立ての良さに感動したという奥様。ここに座って本を読んだりテレビを見たり、家族のお気に入りの場所となった。 E_こもり感のあるダウンフロアのリビング。薪ストーブを備えたのは、信州での別荘ライフを満喫するためだそう。 F_デザインと機能性を兼ね備えた造作書棚。左側には掃除機などの掃除道具が収納されている。雑多になりがちなモノも適所適量に収められ、使い勝手は抜群。 G_ペンダントライトを2つ吊り下げたのは、ダイニングにインパクトを出すため。ルイスボールセンの上質な光が、食卓を心地良く照らす。

の完成度の高さは、想像以上の安らぎをもたらしてくれたとか。「キッチンからダイニング、テラスへと視線が抜けるこの開放感も気に入っています」
ゴルフやスキーなど、四季を通じて高原アクティビティを楽しむ夫妻。そこへ、新たな趣味として加わった、プライベートサウナのある暮らし。ご主人がどうしても譲れなかった条件の1つでしたが、「諦めなくて本当に良かった」。夫妻にとってこの別荘は、喜びと充足感に満たされる、かけがえのない拠点となりました。

「自然素材にはこだわりました」とご主人。それは人や環境への配慮はもちろん、時間の経過と共に深みや味わいが増す「経年美化」を見込んでのことです。実はトモノの家が選ばれる理由の1つには、年月を経ても変わらない心地良さや色褪せないデザインがあります。耐久性やメンテナンスのしやすさなど、将来まで見据えた確かなプランニングが、住み始めてからも安心の続く住まいを実現しています。奥様にとっても、この家は心と体を整える癒しの場所となりました。ノイズを極力減らし、色味や素材感などすべてにおいて調和のとれた端正な設え。そ

年月を経ても色褪せない
居心地の良さと
普遍的なデザイン

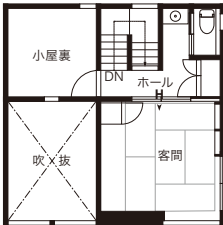
シンプルだからこそ際立つ美しさがあります。窓から見える木々の緑や四方から降り注ぐ自然光、床一面に広がる木肌の表情も実に清らかです。夫妻が望んだのは、無駄のないスッキリとした住空間。そこに造作家具がさりげなく配され、建物全体に美しい統一感を生み出しています。



DATA

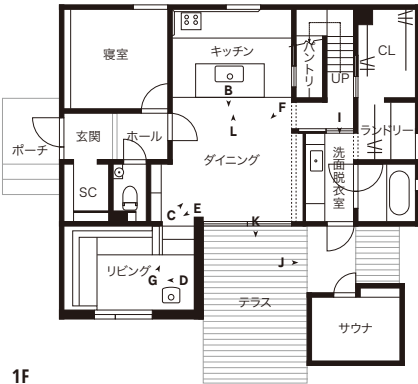
敷地面積 850.27㎡ (256.69坪)
延床面積 116.43㎡ (35.15坪)
1F面積 93.25㎡ (28.15坪)
2F面積 23.18㎡ (7.00坪)

2F



PLAN

工法／木造在来軸組工法 基礎／ベタ基礎 構造材／柱：集成材、梁：ペイマツ・レッドウッド集成材、土台：ヒノキ断熱材／天井：発泡ウレタン200mm、壁：硬質ウレタンフォーム85mm、基礎：(立ち上がり)ポリスチレンフォーム100mm・(底盤)ポリスチレンフォーム50mm 主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム鋼板、外壁：スギ板張り、その他：洗い出し土間・セラガンバツ 主な内装仕上げ／天井：ヒノキ・シナベニヤ・クロス、壁：タイル・クロス・有孔ボード、床：フローリング・タイル・畳 開口部／樹脂サットリプルガラス キッチン／F-FURNITURE 藤岡木工所 キッチン熱源／ガス バスルーム／TOTO ハーフバス 暖房の種類／高効率エアコン・薪ストーブ C値／0.22 UA値／0.34



1F

Comment

Owner: Tさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にすることは？

- A 家族3人で楽しく過ごすための適度な広さと飽きのこないデザイン。サウナの設置も絶対条件でした。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは？

- A 全体を同じテイストで仕上げ統一感を出せたこと。木材やタイルなどの素材は実際にサンプルを見て選びました。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは？

- A 図面では分からない細かな部分も丁寧に仕上げていただきました。施主を第一に考えてくださる誠実さにも感謝です。

Builder: 設計／伴野さゆりさん・伊藤譲さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは？

- A 高い天井と、テラスにつながるダイニング、ダウンフロアのリビングなど、居場所ごとにゆったりできる空間づくり。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

- A プライベートサウナとこだわりの造作家具、眺めのいいモダンな和室です。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは？

- A 末永く安心して快適に暮らしていただけるよう、お施主様を大切な友人や身内と思って、家づくりをご提案しています。

H_客間として設えた2階和室。和モダンの雰囲気と窓からの借景が見事に調和している。夫妻は畳と天井に張られたシナベニヤの造形美に圧巻されたそう。 I_優れた動線もT邸の自慢。浴室からテラスを挟んでサウナまで続く。 J_浴室とサウナの間に信楽焼の水風呂を用意。シャワーも完備され、外からの視線も気にならないため、プライベートタイムを心ゆくまで楽しめる。 K_サウナの後はテラスでビール!が夫妻の至福のひととき。 L_木のぬくもりを感じるナチュラルなアイランドキッチン。ふと顔を上げるたび、フィックス窓越しに森の鮮やかな緑が広がり、心がすっと穏やかになるそう。 M_広いテラスは多目的に使えるとおきの場所。緑を眺めながらのんびり。天気の良い日はここで朝食をいただくことも。